

## 丸岡町との交流

作左の会の発足当初からゆかりの地との交流は大事な事業の一つです。作左衛門の顕彰と町興し活動について交流をしているゆかりの地は、福井県坂井市丸岡町です。作左衛門の息子の成重（仙千代）が丸岡城六代目城主を務めました。ここは日本一短い手紙「一筆啓上賞」で知られています。なお、我が岡崎市宮地町は作左衛門生誕の地で「ふるさと賞（俳句と短歌）」を設けています。

平成十二年十一月には四十三名が丸岡町訪問・交流と丸岡城見学をしました。

その後中断していましたが、平成二十八年六月には四十三名が丸岡町に研修・交流をしました。交流は活動情報を交換するなど交流を続ける話し合いをしました。



武曾館長と兵藤会長との交流の話

平成 28 年 6 月 11 日

### 丸岡町との交流の再開に関わって

兵藤 紀之

作左の会の発足当初に一度実施したきりの丸岡町との交流の再開を申し出ました。平成二十八年度の旅行が丸岡町に決まると、「日本一短い手紙の館」の見学と交流再開の話し合いを申し出ました。「日本一短い手紙の館」館長（丸岡町代表）との話し合いの結果、今後交流を活発化していくことを申し合わせました。



丸岡町の「日本一短い手紙の館」前で記念撮影  
(平成 28・6・11)